



第1図

果による下層の雲の予想, 等の改善が見られる。

しかし, 6時間数mm 程度の弱い雨の領域が, 予報後半でやや広がり過ぎる欠点が見られる。また, 上層の高度場のバイアスが旧モデルに比べて大きくなっていること等の問題も生じている。これらの問題については, 今後, 各種パラメータの影響を調べたり, 各物理過程のインパクトテストを行なうなどして改良していく予定である。

気象庁ではメソ量的予報(メソスケール現象の1日先までの量的予報)を今後の重点開発項目としている。今回のバージョンアップは力学的手法によるメソ量的予報への第一歩と位置付けている。

(注)スレットスコア: 雨が観測されたかどうか, あるいは予報されたかどうかの回数を次のような分割表で表わす時,

$$\text{スレットスコア} = \frac{\text{FO}}{\text{FO} + \text{FNO} + \text{NFO}}$$

	予報あり	予報なし
観測あり	FO	NFO
観測なし	FNO	

で定義される。

(気象庁数値予報課 瀬上哲秀・中村誠臣)

訂 正

巻号	頁	行	誤	正
39.4	244	右22	協力名義参加	協力名義不参加
39.5	310	右7	梶本 徹	桐本 徹

お知らせ

日本気象学会理事会

常任理事の交代について（定款第19条関連）

村山常任理事のご逝去（5月23日）に伴い、松野太郎会員（東京大学気候システム研究センター所長）が前任者残任期間中の後任として就任することになりましたのでお知らせ致します。

訂正とお詫び

日本気象学会選挙管理委員会

第27期役員選挙候補者名簿の一部に次の誤りがありました。

訂正してお詫び申し上げます。

1. 投票用紙等送付中の第27期役員選挙候補者名簿

「北海道地区」

菊池 勝弘 は 菊地 勝弘

「九州地区」

山中 陸夫 は 山中 陸男 とそれぞれ訂正致します。

2. 「天気」第39巻5月号、313ページ 第27期役員選挙候補者名簿

「九州地区」

山中 陸夫 は 山中 陸男 と訂正致します。

月例会「長期予報と大気大循環」の講演募集のお知らせ

エルニーニョ、ピナトッポ火山噴火と大気大循環に影響を与える現象が次々に起きていますが、本年も標記月例会を下記のとおり開催いたします。講演を希望される方は下記の要領でご応募下さい。

記

日 時：1992年10月26日（月）13:00～17:30
場 所：気象庁第一会議室（5F）

申込方法：講演題目、講演者氏名・所属、講演要旨（400字以内）を添えて申し込んで下さい。

申込先：〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁予報部長期予報課 高野清治
TEL. 03(3212)8341（内線3158）

申込締切日：1992年7月24日（金）